

第1章 総則

災害の種類	地震被害		風水害	土砂災害
災害形態	津波を伴う海溝型地震	直下型地震	浸水被害	斜面崩壊、土砂流出
災害要因等	南海トラフ地震 日本海側海溝型地震	活断層地震	豪雨による河川氾濫等の災害	土砂崩れ、土石流等による災害
発生が想定される災害廃棄物の特徴	巨大津波による建物被害、大量の混合廃棄物が発生	揺れによる建物の倒壊や火災による廃棄物	床上・床下浸水による災害での家財等の廃棄物	大量の土砂及び流木等、被害家財からの廃棄物
参考となる過去の災害事例	東日本大震災	平成 28 年 熊本地震 平成 28 年 鳥取県中部地震	平成 27 年 関東東北豪雨 平成 30 年 7 月 豪雨、他	平成 25 年伊豆 島土砂災害 平成 26 年 広島市土砂災害 平成 30 年 7 月豪雨、他

建物被害 ※1	揺れによる全壊	約 200 棟	ライフライン被害	上水道（断水人口）	約42,000 人
	液状化による全壊	約 10 棟		下水道（機能支障人口）	約35,000 人
	津波・浸水による全壊	5 棟未満		電力（停電軒数）	約24,000 軒
	急傾斜地崩壊等による全壊	5 棟未満		固定電話（不通回線数）	約5,600 回線
	地震火災による焼失	5 棟未満		携帯電話※3（停波基地局率）	約 80%
	合計	約 200 棟		都市ガス（復旧対象戸数）	5 棟未満
人的被害 ※2	建物倒壊等による死者	5 人未満	生活への影響	LP ガス（機能支障世帯）	約 400 世帯
	浸水・津波による死者	5 人未満		避難者数※4	約7,500 人
	急傾斜地崩壊等による死者	5 人未満		上記における避難所避難者数：避難所外避難者数	50：50
	地震火災による死者	5 人未満		帰宅困難者数※5	約 7,500～8,600 人
	死者数合計	5 人未満		災害廃棄物等	約47,000 ｔ
				廃棄物	

- ※5 平日 12 時

廃棄物種類	可燃物	不燃物	コンクリートがら	金属	柱角材	合計
推計量 (ト)	4,212	4,212	12,168	1,544	1,264	23,400

発災から経過日数	発災 1 日後	発災 1 週間後	発災 1 か月後
避難所避難者数 (人)	525	3,750	818
推計量 (t/日)	0.34	2.41	0.53

※発生原単位 (g/人日) : 643

	簡易トイレ	マルチ トイレ	トイレ (マ ホール用)	トイレ用 外枠	ボックス トイレ	スquat用 便座	トイレ カートリッジ
計	90	32	7	37	85	95	150

発災から経過日数	発災 1 日後	発災 1 週間後	発災 1 か月後
仮設トイレ必要人数 (人)	22,023	16,365	2,023
仮設トイレ必要基数 (基)	281	209	26

収集計画：3日（3日に1回収集）

災害が発生した場合の仮設トイレの必要基数から、現在の備蓄数では不足が生じる。

種類	内容
可燃物/可燃系混合物	繊維類、紙、木くず、プラスチック等が混在した可燃系廃棄物
木くず	柱・はり・壁材などの廃木材
畳・布団	被災家屋から排出される畳・布団であり、被害を受け使用できなくなったもの
不燃物/不燃系混合物	分別することができない細かなコンクリートや木くず、プラスチック、ガラス、土砂（土砂崩れにより崩壊した土砂、津波堆積物 ※ 等）などが混在し、概ね不燃系の廃棄物
コンクリートがら等	コンクリート片やコンクリートブロック、アスファルトくずなど
金属くず	鉄骨や鉄筋、アルミ材など
廃家電（４品目）	被災家屋から排出される家電４品目（テレビ、洗濯機・衣類乾燥機、エアコン、冷蔵庫・冷凍庫）で、災害により被害を受け使用できなくなったもの
小型家電/その他家電	被災家屋から排出される小型家電等の家電４品目以外の家電製品で、災害により被害を受け使用できなくなったもの
腐敗性廃棄物	被災冷蔵庫等から排出される水産物、食品、水産加工場や飼料工場等から発生する原料及び製品など
有害廃棄物/危険物	石綿含有廃棄物、ＰＣＢ、感染性廃棄物（注射針や血が付着したガーゼ等）、化学物質、フロン類・ＣＣＡ（クロム銅砒素系木材保存剤使用廃棄物）・テトラクロロエチレン等の有害物質、医薬品類、農薬類の有害廃棄物。太陽光パネルや蓄電池、消火器、ボンベ類などの危険物等
廃自動車等	自然災害により被害を受け使用できなくなった自動車、自動二輪、原付自転車
その他、適正処理が困難な廃棄物	ピアノ、マットレスなどの地方公共団体の施設では処理が困難なもの、漁網、石こうボード、廃船舶など

本市で発生した災害廃棄物は、環境に配慮し概ね３年以内に処理を終了することを基本に、地域に存在する資機材、人材、廃棄物処理施設や最終処分場を最大限活用し、極力、自区域内処理に努める。



